

第2回 宇宙栄養研究センター WEB特別講義

演題：柔道とリハビリテーション医学
～転倒予防から栄養まで～

講師：京都府立医科大学大学院 医学研究科
リハビリテーション医学
教授 三上 靖夫 先生

日時：2020年11月16日（月）
17：00～18：30

場所：Microsoft TeamsによるWEB講義に変更

強靱な身体を持つ者同士が繰り広げる攻防が柔道の醍醐味である。しかし、身体への効用からみた柔道には、活動を育むリハビリテーション医学・医療に通じるものがある。柔道が持つ特性が子どもの成長をよりよく促し、高齢者を対象とした転倒・骨折を予防する体操も考案され効果が期待されている。一方で競技柔道ではスポーツ傷害が多く発生しており、頭頸部外傷など重大事故の予防が問題となっている。また、強靱な身体を作るとともに減量に直面する競技者にとっては栄養学の知識が欠かせない。講演では、リハビリテーション医学・医療と通じる「活動を育む」柔道について、自らの関りや栄養サポートの重要性を中心に述べる。

講師の三上先生は、私の大学時代の2年先輩の先生です。上記のとおり、柔道の専門家で、力強く優しい整形外科医（リハビリテーション）です。スポーツとリハビリテーション、栄養はとても重要な関係にあります。本講義では、そのあたりの関係をご自身の体験を基にお話ししていただける予定です。

本講義は、大学院医科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部の大学院特別講義を兼ねています。

多くの先生方、大学院生、学部学生、興味をお持ちのすべての方々のご来聴を歓迎致します。



- ①左記のQRコードか、
- ②<https://uss.ait.tokushima-u.ac.jp/?id=l8LgyDYN> にアクセスして、特別講義のURLコードをご確認ください。

連絡先：生体栄養学分野 二川 健（内線：9248）